

秋吉 窓

え・小西 保文 好

針金で木に宙吊りにした学生の死体を、一人の男がパイプ椅子を振りかざし、今まさにその脳天目掛けて撲りつけようとしている。学生の死体は人形のように木にぶらさがり、頭はすでに血まみれで、喉元深く針金が食い込み、首が異様に長くのびて、口が火男のようになっている。死体に挑みかかっている男は今にも飛び上がるんばかりに身体を伸ばし切って満身に力をこめている。そして、この二人を取り囲んで、群衆が見ている。群衆の顔にはいすれも笑いが満ちている。どの顔も明るく屈託がなくて、吊された学生の死体とそれを撲る男の情景が、あたかも人形を相手に演じられている喜劇でもあるかのよう、白い健康な歯を出して愉快そうに笑っている。

死体の学生も、撲りかかる男も、それを見ている群衆も、健次と同じ二十才前後の若者だった。

健次は重苦しい気分になつてグラフ雑誌を枕元に投げ出し、煙草をふかして大きく息を吐き出した。

——この男に死体を撲らせているものは何だろう？ な

ぜ彼らはあんなに明るく笑っているのだろう？

健次がこの写真を見るたびに抱く疑問だった。そして、このグラフ雑誌をいつまでも手元に置いておく理由だった。それは一九七六年十月六日タイの首都バンコクの国立

した何枚かの写真のうちの一枚だった。その日、三十九人の学生が死んだ。焚木でも燃やすように学生の死体を積み重ねて焼き払う写真、無抵抗な学生に棍棒で撲りかかる右翼、裸で腹這いに寝かされた何百という学生、国王の写真をかざしてクーデターを支持する群衆など、詳細に事件を伝える写真の中で、健次はこの写真が一番心に残った。

——ねえ、空が夕焼けのように赤いわねえ。

窓辺にもたれていた珠子が言った。

道を隔てた高架の上を電車が通る。そのたびに震動が伝わってきて、小刻みに部屋をふるわせる。電車の長く連なつた窓に、吊革にぶら下がつた無表情な人の姿が、次々と数知れず通過する。

——ねえ、血を流したみたいで気味が悪い。今に血の色をした雨が降つてくるんじやないかしら。

珠子の声は粘つこく健次の耳に纏わりついて、健次を写真の世界からアパートの部屋につれもどした。

——お前、裸のままだろう。

健次は不機嫌に珠子をなじった。

——いいじやないの。暑いんだもん。珠子はわざとらしく窓辺をはなれ、健次の枕元の煙草をとつた。尖った小さな乳房がゆれた。

——電車から丸見えだせ。

——私はいつだって人に見られても平気よ。見たい奴に

は見せてやるわ。

高架の電車が通るたびに、白い光が窓に差す。そして通過すると、赤く染まつた高架下の市場の屋根が見える。

——モデルなんかしているから露出癖が身につくものなんだ。

——売れない写真家に、露出狂の女、なんて、ずいぶん似合いじゃないの。あつ。あのおじさん、こっちを見た

わよ。手を振つてやろうか。珠子は立ち上がって今にも手を振りそうにしてはしゃ

いた。

——馬鹿、やめとけよ。

健次は真顔になつて言つた。

——寝ていたつて、結構電車の中から見えるわよ。私、いつだつたか、あんたが他の女と寝てたのを見たいことがあるわよ。

——嘘をつくな。

——本当よ。隠しても駄目だから。大阪で仕事をした帰りの電車から見たわ。痩せた女の背中がゆれていたのまでわかつたわ。

——ぼくには覚えがないな。高架沿いに無数に同じようなアパートがあることだし、何人も露出狂がいたつて不思議はないからな。

——どうでもいいわ。そんなこと。

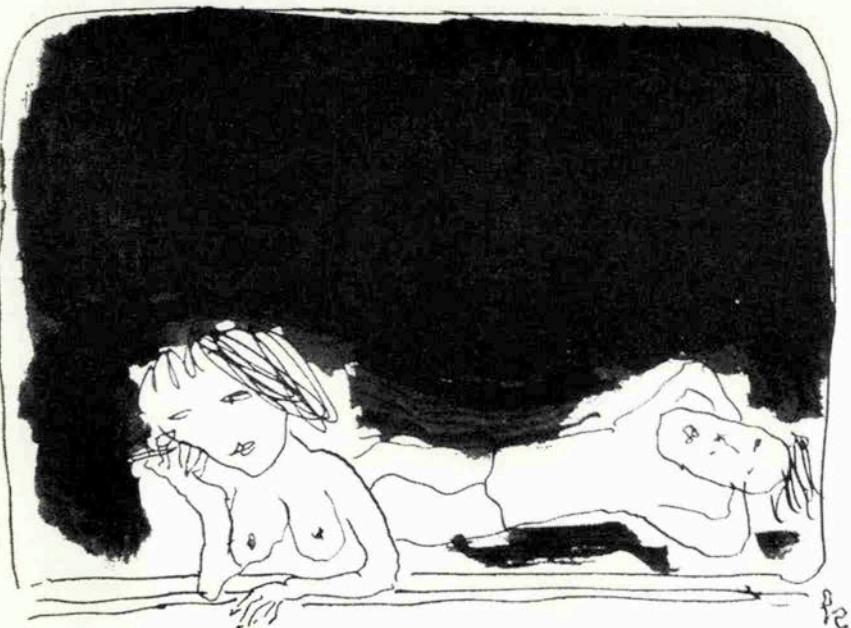
健次は仰向きになつて天井を見ながら煙草をふかす。白い煙が蛍光灯の仄暗く照らし出す光の中を渦巻きながらのぼつて行く。

珠子に遮られた健次の思考は仲々焦点が定まらず、風化し、同じ所を循環する。

——どうして彼らはあんなに笑うのか？

と咳く。そして、またグラフ雑誌をとつて見た。

△この前頁の写真と比べたらよくわかる。銃撃戦で死んだ学生の死体にガソリンをかけて焼き払つてゐる写真では、群衆はみんな人を焼く匂いに鼻をおさえ顔をそむけて真剣な憂鬱そうな表情をしている。みんなはこの残酷な事態の意味をよく知つてゐるのだ。ところが、この写真では、彼らは明らかに学生の死体をなぶりものにする面白がつて見てゐる。同じ民族で、同じ国民で、同じ世代でありながら、体制を認めるか認めないかで、死んだ相手を木に吊し、死んでも決して攻撃の手をゆるめないでいる。人間が人間を憎悪



するということがこれほどまでに深まるんだということ
が理解できても、やはり驚きだ。さらに、群衆がそれを
面白いことのように白痴的に笑つてすることは異常だ
し、その異常に気付いていないことが不気味だ△

——人の写真に感心ばかりしていても仕方がないじやない。
珠子が健次の見ているグラフ雑誌を取り上げて自分で
も見た。

——ああ、気味が悪い。

と珠子はすぐに雑誌を健次に押し返した。

——ピュリツツア賞を受けた写真だ。ほんなんか、こんな写真を見ていると、撮る側から見る側にすぐ追いやられてしまう。こんな写真に構成とか陰影とか技術を学ぶというよりも、長い歴史の一コマをいかに定着するかという点にだけ意味があるし、そしてそれが影像の思想だと思う。

——でも、あなたの撮るのとはまるつきり違うわね。あなたは私を相手に変な写真を撮る芸術派でしよう？

——ほくだつて、こんな事件が起こつたら、これくらいきつと撮つてみせるさ。

——芸術派が社会派になるつわけ？

珠子はつまらなさそうに枕元の煙草をとつて火をつけ
る。六疊一間の部屋の中はグラフ雑誌や本が堆く積み上げ
られ、蒲団を敷いてあるので足の踏み場所もない。東側
に水場があり、暗室代りに使つている押入れの扉や、西
側の壁など至る所に健次の撮つた写真のパネルが掛けて
ある。そして、南に大きく開いた窓から、目と鼻のすぐ
先に、高架の上を絶えず通過する電車が見える。

——ああ、どうしてあんなに気味の悪い赤い色に染まつ
ているんだろう。血を流し続ける空なんて、おぞましく
つて、ぞつとする。

珠子は窓枠に頬杖をついて高架の上の空を見上げる。

女が一人順々に白い街灯が連なる薄暗い路上を一小時
間ほど行つたり来たりしていた。駅から離れた市場の裏
側の道はときたま銭湯へ行く人が通るくらいだった。女
は道に大きく開いたアパートの二階の窓にちらちら裸の
男女の影が差すのが気になつていて、それも仕方がな
かつた。ようやく一人の男がぶらぶらと歩いてきた。
「ちよつと御主人」

女は意を決して男に声を掛けた。男は酒臭い息をして
女の顔をまじまじとのぞき込んだ。女は男を見て少し安
堵した。男は三十才前後の労働者のようにだつた。
「御主人、結婚しているわね？」

女の唐突な間に男は言葉に窮した。女は男の戸惑つた
様子を見て、納得顔に、

「じやあ、この服着れないかしら」

と、紙袋の中から縞紋様のワンピースを取り出して、
男の前に広げた。

「私より大きい人なの？」

「まあな」

「じゃあ大丈夫だわ。きっと似合うわ」

女は一方的に似合うものと決めてかかる。男はそんな
女の厚かましさに不機嫌になつた。

「これをどうしろというんだ？」

「買つてほしいの。いくらでもいいから。実は私この二
三日病気で仕事に行つてないの。だからお金が一銭も
ないの。お願いだから、助けると思って、いくらでもい

いから買ってほしいの。お願い」

女は男に手を合わさんばかりにして頭を下げる。女は小柄で丸顔だった。茶色に染めた髪がまだらになつてゐる。

「それは可哀そうだな」

男はそういうながらも女の顔をさぐるように見つめる

「けど、そんな服を買つても、誰も着ないからな」

「結婚しているんでしょ？」 そしたら買って帰つてあげ

たら奥さんよろこぶわよ」

男はにやつと嗤つた。

「いくらで売るつもりなんだ？」

「いくらでもいいの。御主人が言う金額でお願いします

「でもなあ、人の着たものなんか、誰も着ないからなあ」

「お願い。助けるつもりで」

「五百円や千円で買つてあげても生活費の足しにはならないだろう？」

「そんなことはないわ。この一日二日が凌げたら、働けるから、何とかやつていいける」

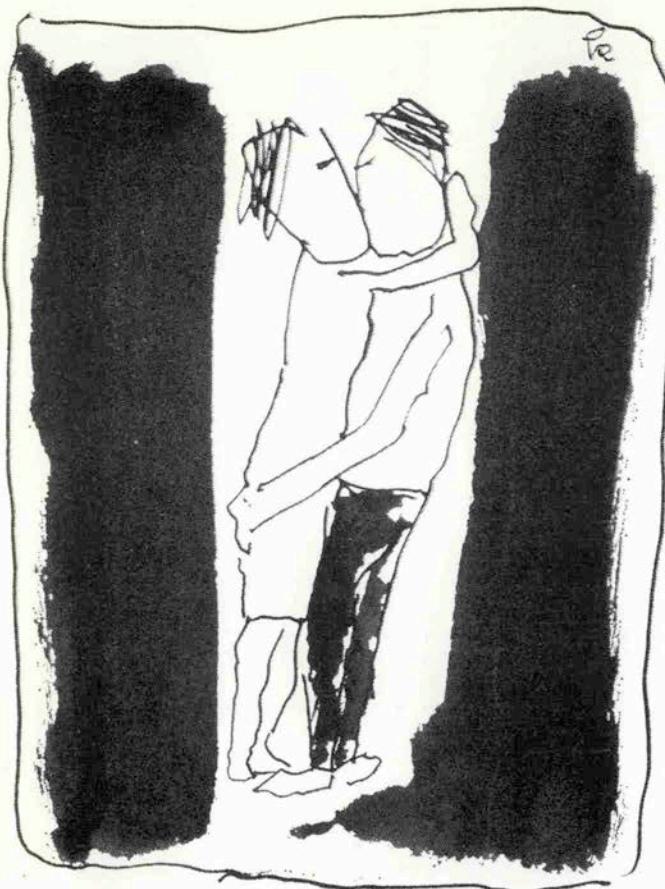
女は服の入った紙袋をどうかして男に手渡そうとする

男はそんな女の顔を嘗めるようにのぞき込んで嗤つている。

「困っているんなら千円くらいあげてもいいけど。そんなもんもらつても仕方がない」

男は二三歩あるきながら繰り返す。女は男と一緒に歩きながら引き留めようとする。

「それじや、御主人。お酒呑むんでしょ。これまだ使つたことのないウキスキーグラスだけど、これも付けます



から、お願ひ、受け取つてちょうだい」

「あんたがその気ならもつとあげられるんだけどなあ」

また同じ電柱の下にもどつて男が冗談めかしに言う。

女は探るように男の顔を見る。

「あんたの身体を貸せば五千円くらいあげよう」

男の赤い顔が淫らに崩れる。

「結構だわ。だから、これを買ってもらおうと思つて」

「決裂だなあ」

「結構だわ。だから、これを買ってもらおうと思つて」

遮る。

「私をからかつてゐるんぢやないでしようね」

「そうじやない。そんなのを買えといふ方が無茶だ。

百円でもいらんわ。だから代りにもつと沢山あげられる

ことを言つたまでだ」

「でも笑つてゐる。本気じやないんじやう？」

「素面だつたら、こんな話に乗るかい」

男はすぐ側の奥まつた市場の裏口の暗闇をのぞく。

「あの二人、何をしてゐるのかしらね？」

珠子に手招きされて、健次は蒲団の上を一回転して窓

辺に寄つた。

「さつきから、服をひろげたり、コップを出したり。女がそれを男に押しつけようとしても、男は受け取るまいとするし。

「夫婦喧嘩じやないのか？ぼくは御免だぜ。いつだつたか、女房にバットで撲られて口を血だらけにして家から転がり出でた男がいたので、助けて家に入れようとしたら、女房や子供や、はてはその男からも邪魔者にされて困つたことがあつたんだ。

「街灯の下の二人、なんて、あなたの好みよね。それも若い男女ぢやなくて、人世に疲れた平凡な中年の男女。

「あんなのが被写体になるかよ。事件でもあればともかく。

「どんな事件があればいいの？ 男が女を撲るとか？」

それとも、女が撲るとか？

「そんなことじや事件にならない。」

「それでは、男が女を刺すとかは？ 刺す瞬間を撮ればいいじやないの。ほれ、このグラフの写真のようになら。」

「この写真のようになら。人が人を殺す瞬間をぼくが撮ればいいのか？」

「ぼくはそんなことは言わない。ぼくは報道写真がすべてに優先するなんて絶対に思わないよ。」

「見てよ。やつぱりあの二人、変だわ。あんな所に隠れて何をしてゐるのかしら？」

「市場の裏口だらう？ 泥棒じやないのか？」

街灯の下にいた男と女は家と家の間の狭い奥まつた所に入り込んで、身体を寄せ合うようにして、じつと立つてゐる。アパートの二階の窓から二人の様子がよく見えた。

「泥棒とはちがうわ。それにしても何かしら？あつ、いやだわ。」

と、珠子がすっとんきような声をあげた。それを健次が制した。

「よし、撮つてやる。」

健次は素早く立ち上がりて蛍光灯を消し、押入れからメタリックケースを持ち出した。いつも自慢にしている 6×6 一眼レフのライカに高感度フィルムを入れて、フライインダーをのぞく。高架の上を電車が通るたびに、路上が明るくなる。健次はそこに浮かび上がつた二人の影に向つて何度も何度もシャッターを切つた。珠子は最初のうちは面白がつて見ていたが、すぐに飽いて、窓辺に長々と寝そべつた。窓の庵の横の空はまだ赤く染まつていた。

Orthodontist



播磨矯正歯科

神戸・元町 ☎391-5288

fresh!

フレッシュな製品をつくりお届けするのが私達の役目です



取扱品目

牛 乳 ソフトミックス
生 ク リ ー ム コーヒー用クリーム
ケ キ 用 ク リ ー ム 各種アイスクリーム

株式会社

六甲牧場

神戸市灘区篠原南町6丁目1-25 ☎神戸078(801)6000(代表)

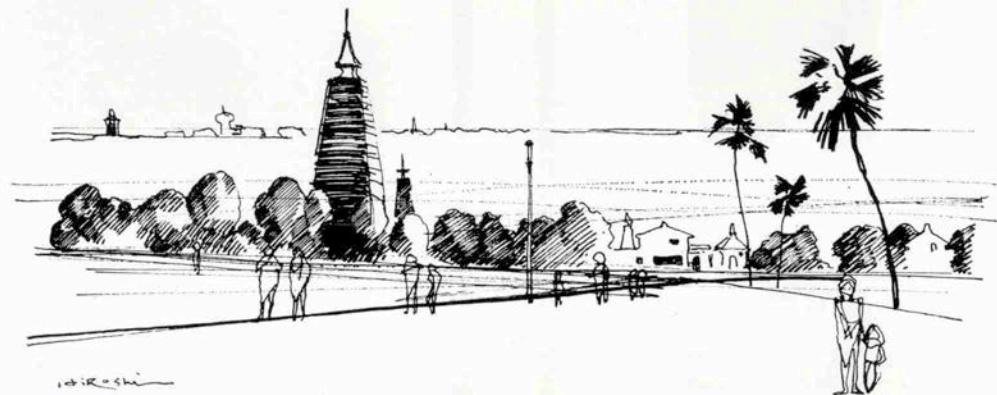
連載小説

<5>

シール・ブラウンの神々

田靡 新

絵・松本 宏



(IX)

九月十三日 金曜日 晴のち台

風で大雨

きよう、パパがインド旅行のパ
スポートを受取った。パパにとつ
ても、わが家で初めての海外旅行
だ。ママは、そのことをあまりよ
く思っていません。インド旅行を
決心したパパと口ゲンカがたえな
いのも、そのためです。

海外旅行が、好きなときに列車
や船や飛行機で行けないことは、
チヤブリンの『ニューヨークの王
様』をみて知りましたが、いちい
ち国の許可がいるのですね。ボク
だって、イタリアのランボルギ
ニ・カウンタックLP四〇〇とか、
西ドイツのポルシェ九三二〇ターボ
を本場で見たいと思う。しかし、
菊の紋章のパスポートをみて、予
防注射だの面倒な手続きのいるの
を知り、がっかりした。

きょうは、その上ボクの学校で
の出来事がからみ、パパとママは、
たちまち大ゲンカ。それは給食の
とき起こったのです。

ボクは給食当番のケン坊とス
ープ鍋を両側からさげ、一階から三
階の教室まで運び入れた。白いマ
スクをつけ、帽子をかぶり、上つ
ぱりを着て。スープ鍋は重いから、
一階ごとに休み、左右の腕を交代

しながら。つまり、一階から三階まで六十の階段を二度往復することになるのです。

配膳掛の女の子の並べたアルマイド皿にスープを入れようとしたとき、掛の純子が、スープのなかに髪の毛をみつけたことから、事件がひろがるのです。純子は、スカートでもめくられたときのように大声で、髪のことを叫び、ボクとケン坊をまじまじとみつめるのですから、たまりません。なるほどクリーム色のうすい幕をはったスープの上に一筋の髪をボクもみつけた。しかし、指でつまれば取れる毛を、大事件さながらにみんなに知せらる必要もないのにと、ボクは冷静にかまえていたのです。「幸治くんは、いつも頭をかいて、フケを落としたり、肩に髪をつけているわ」

机に坐っていた連中までが、スープ鍋をのぞきに集まっています。珍しくもないのに。

「これが、ボクの毛だとはいえないよ」

給食室から、すでに入っていたかも知れないケン坊のかも分らない。いや、わめきちらしている純子のかも知れないぞ。コマーシャルみたいに、頭をふっては、長い髪をみせびらかすくせに。

「きたなくて、もう飲めないわ」

「そうよ、幸治くんのんよ。私もそう思う」

女たちとボクは向いあう。馬鹿ばかしくてつきあいきれないよ。女たちは、さわぎをひろめることで楽しみを分かちあっている。

ボクは、ふと家でガミガミいうママを想い出す。女は年に關係なく、こんなちっぽけなことでも大げさに、どうしてさわぎたてるのだろうか。ボクは、つくづく女に生まれなくてよかったときえ思うのだ。

毛は、すぐにでも指でつまんで拾いあげられる。ボクがそれをやれば、ボクの毛の証明みたいだ。スープ鍋を交代でのぞきこむみんなに押され、ボクは黒板の方へ退却したかたちになる。ボクは、さわがしい教室を無視する。ふと、窓辺に近づき中庭でもみたいと思う。そう思

うと、なんとなく桜の木の下のコスモスの花が、見下ろされる位置に立っていた。薄い花びらは、風にゆれている。それが、はるか遠い距離に見える。そのとき、窓辺の金魚鉢のなかの金魚の影が、目にふれる。水にぬれた赤い尾ひれも風にゆれている。

ボクは、いまこの日記をつけながら、そのときのことをくわしく想い出したいのだが。コスモスも金魚もやさしくゆれていた、ボクに関係なく。しかも、五四の金魚は水面に口をそろえ、エラでゆっくり呼吸をしている。星ごろは、給食のパンがもらえることを知っているのだ。純子たちが、その金魚を可愛がっていることも頭に浮かんでくる。ボクは、とっさに金魚鉢に手を入れる。おどろいた金魚が、水槽の底へもぐるのをつかんだ。誰もそのことに気付いていないらしい。

ボクは、そのままスープ鍋に歩みよる。さわぎが、教室全体にひろがっているのに、ボクは、自分の鼓動しか聞こえなかつた。

「まだ、ボクの髪だというのかい」

ボクはスープ鍋の上に金魚を握った手をひろげた。純子たちが、きやあと後にしりぞく。

「さあ、はつきりしようじやないか」

手のなかで金魚は、にぶくはね、苦しそう。ぬるぬるしたうろこが、とれそうだ。

「やめて」

いつせいに女の声がわきおこる。早く先生を呼ぶべきだという声もあがり、倍のさわがしさだ。

「幸治、やつちまえ」

おもしろ半分にいう男の声もある。ボクは、金魚がはねるたびに指をひらいたり、すぼめたりした。そのたびに金魚は、ねばりつくボクの手から逃がれたがっている。ボクは、なぜか、女の子を押えつけていた気分になる。

スープが、ジャガイモやニンジンの浮きでた部々から黄色っぽく変色している。その上の一本の毛が、ボクには回虫にみえてきた。

もう、このステップはダメになつたと思う。いまさら、

金魚も水槽に戻してやることもできない。そのとき、ボクの手を押えつける力があった。金魚は、きらつと軀をそらせ空間を泳いだ。とり押えられたボクの指は、ぬるぬるにしめついていた。

担任の鈴木先生は産休です。そのため代用の山田先生が教室に駆け戻ってきた。ステップ鍋のまわりから、みんながとびちり席へ帰つてゆく。ボクは、金魚がはねるたびにステップにまみれ、やがて動かなくなるのを観察していた。金魚の目に、暖かいステップの幕がはつてゆく。

「なぜ、そんなことをしたのか？」

山田先生の大声が耳の近くで、くりかえされる。ボクがひと言も口をきかないものだから、ボクの耳をひっぱつて金魚鉢のところまで歩く。痛くて顔をしかめても絶対に答えない。そのため午後に、ママが学校へ呼びだされ、給食事件が全校にひろがつた。

「家へ帰り夕食のときも、その話題になる。」

「パパ、『そのステップは、どうなつたんだ』」

ボク「重いのに、また給食室へ運んだんだよ。ブタの餌

行きさ」

パパ「もつたないことをするんだね」

ママ「幸治が悪いことをしたとは、思わないの。金魚だけじゃないんだですよ。女の子が泣いているのに、ゲ

ラゲラ笑つてたそうですよ。親の顔がみたいと父兄たちの抗議がつづいたんですから」

パパはボクの肩をもつのか「もつと、他に原因があるよ」という。ボクは思わずやりとしまつた。「あん

なのステップじゃない。粉っぽくて、まずいんだよ」ボク

は、やつとここまで言う。ほんとは、あんなステップには、

ヒキガエルかヘビを投げ入れてやりたいと、ケン坊らと話したのだ。卒業までのある日、必ず実行しようと。

きょうの髪のことは、ハプニングだ。たださわぎが大きくなつたので、もつと大きくしてやれと思つたまでさ。

この分では、次の計画は成功する。きょうのところは、

その前しよう戦だとキミに誓つてもいいよ。

日記くん。きょうは、たくさん書きこんだね。お互にウソはつきっこなしだよ。キミとボクだけの秘密を守るためにも。

(X)

仏跡めぐりの十五人のパーティを乗せた観光バスは、パトナからナーランダへ。ラジギールからブッダガヤへ。さらにバラナシーまで四五〇キロを二日間でぶつとばす

町を横切り、村を駆けぬけ、川を渡り野をひたすら突っ走る。街路樹のつづく広い道路に羊や牛の群れが往きかう。運転手のラルーンサンは、ロバの荷車も国産車も警笛でけしらい追い越してゆく。

「騒音のサービスまで、ついちゃうのかい」

彼はいつこうに気にしないらしい。ある幹線道路きわには、レンガを積みあげた井戸のような囲いが点々とつづく。肥壺じやないかと、われわれは勝手に喋りあう。

田んぼでは、赤いサリーや腰巻きの百姓たちが田植をしている。畦道で、のんびりと野菜をしている男もみられるが、このレンガの上にまたがつているのを見かけない。

肥壺じやない。添乗員の野中が笑いながら応えてくれる。

「街路樹の幼木を牛に喰われないように囲つてあるんですよ。それにスコールの水を周りに溜めたインドの生活の知恵なんです」

私たち、安心して窓の外の風景をむさぼりつづける。村に入る。樹影には、必ず神聖な牛と昼寝の男たちに出くわす。鍛冶屋がある。ミシンを店先に出して、サリーやシャツを縫う仕立て屋がある。ねんど造りの平家の土間から、子供たちがバスにふりかえる。ナマスティ。樹の下で男が立膝で向いあい、髭を剃る青空床屋もみられ

る。

私は、ナーランダ近くのレストランで昼食のあと、その出張床屋につかまつた。白の上下服を着た若者は、私

の不精髪に手をさしだしてくる。彼らが、シャボンも使わずに髪を剃りあげるのを珍しく思っていたから、興味はあつたが、結局やめてしまう。焦茶色の指、そのうすく色あせたももいろじみた掌で頬をなであげられるのに抵抗があつた。

「髪剃りは、一種の名人芸ですよ。耳そうちも実に気持よくやつてくれますのに」

野中が誘つてくれるが、私は哲学的に苦笑をかえればかりだ。

僧侶たちは、ナーランダの寺院跡や靈鷲山で、さらに

は世尊が悟りをひらいたブッダガヤ大塔や初転法輪の地

サルナートの鹿野苑で読経をくりかえした。

黄色い袈裟を軽にまとい、線香を手向け『般若心経』

を誦える。ナーランダでの読経は、私が生まれてこの方、



どこで聴いたお経よりも印象強い。荘大な原野。緑の地平線まで眺望がきくレンガ造りの遺跡屋上に八名の比丘が、クリクリ頭を並べた。ふりそそぐ太陽は、見る間に汗の幕をはる。うつすらと立ちのぼる線香の煙。読経は、ひときわ力強い合唱になつて野の仏や神々の星寝を、しばし覚めさせたであろう。私の瞼に、ふと亡くなつた両親の顔がうかんだ。汗がとぎれる。暑さが遠のく。臭いが消える。母の靈が身近に寄りそつてくる。私は思わず、あたりにふりかえる。この白昼夢の光景が、そのまま夢につながり、その夜ブッダガヤの小さな村へとつづく。

宿泊したロッジは、自家発電のため十一時には消燈になる。高い天井で回っていた扇風機もことりとも動かない。暑さがこもり寝苦しい。中庭の芝生に出る。中天の

月は、数時間前より瘦せてゐるが、十五夜前夜。稻妻が

西の空で闪光している。雷鳴は聞えない。虫のすだく音も、どことなく日本に似ている。犬の遠鳴きもしている

ではないか。ふと、ドラムの音が耳を掠める。近くの村かららしい。村まつりだろうか。野中が、ロッジの人の案内で村へ出かけてみようとなる。

私は上半身はだか。半パンツにスリッパのままついてゆく。ロッジ前の広場から土壠にかけた梯子をまたぐ。

そこはアラビアン・ナイトか冥土の世界か。これは、いつか見た夢の国。両側から土壁が迫り、軒が寄りあつた狭い路地。ふたり並んでは歩けない。その上、路の真中が浅く溝のようになぐられ、雨が降れば雨水が流れるのだろう。いまは白く乾き、月のひかりが落ちている。家中から流れでた下水が、路地に染みて黒く湿つてゐる。星間ならエヤ蚊が、とびかうだらう。土蛙もいるかも知れない。しかし、いまは臭いも暑さも月のひかりに沈んでいる。

私は、いつの間にか少年のような足どりになつてゐる。大地を踏む感覚は軽く、もう路のくぼみも気にならない。建物の暗いたたずまいにそつた路は、曲りくねつて、どこまでもつづきそう。月をみあげれば、列と同じ方向に前へすすむ。立ちどまれば、月も止まる。

ここはインド。緯度も風土もちがうのに。いつか見た夢をなぞる気分だ。その想い出とも夢とも区別のつかない先に、また夢がつづく。

寝静まつた家からは、やさしい鼾が聴えてくる。納屋から牛の眼が間にうかぶ。太鼓の音が、いよいよ近づいてくる。もう後へはひけない。家並みのとぎれた空地に大八車や床几がある。その上に黒い嵩。横向きに並んだ子供や百姓たちが寝ている。

「男ばかりで、女は家中で寝るのかね」

夢のなかで誰かの声がする。ようやく広場の丘にたどりつく。ドラムの音は止まっていた。木をえぐった太鼓を手まねで借りると、でたらめに打つてみる。夢のつづ

きでドラムが鳴る。

「パパ、バツクシーン（且那、おめぐみを）いざりの老人が、観光バス近くで待ちかまえている。一行の前後を先回りしてまつわりつく。バスの中から、子供たちにデザートにてた親指ほどのバナナやこぶしほどのリンゴを手渡してやる。子供たちは、決してその場で食べない。すばやくスカートやポケットにしまいこむ。持つている者からめぐみを、インド人の生活信条なのだ。

私は腕時計を見る。午後三時か。時差が三時間半だから、日本の小学校では間もなく給食が始まると。幸治の秘密日記を出発前に見てしまつた。私が、何げなく地球儀を本箱の上から降ろしたとき、そのノートが落ちたのだ。学校給食の不満は、子供の口から聞いていた。料理がまずいと、お膳をひっくりかえす亭主は、もう日本には居ないだろうが、幸治らが、ヒキガエルやヘビを使う方法を発見して、私はびっくりした。しかし、私は幸治にも、妻の杉野にもその秘密を明さなかつた。

「駄は女の仕事だ。私は、もつと大きいことを考えてやりたいんだ」「それなら、もっと父親らしくしてください。今回の責任も大きなことですからね。先生に呼びだされても、絶対学校へはゆきませんから」妻の声が遠のく。給食そのものが、本来の食べる樂しさ、おいしさからかけ離れ、大量生産の飼料化に組みこまれている。すれば、たんに子供たちの口のおごりや好き嫌いだけではない。

「バスに群がる不可触民の子供たちをみていると、貧しい神の子が余りにも多いにおどろく。」

英國のJ・B・S社のトラベルマップにもみあたらぬ小さな町でランチをひろげる。バスを降りて樹影で立小便を探している間に、どこからともなく人々が集まってきた。僧侶のひとりが、インスタントラーメンを子供たちに食べさせようとしたが、人垣はくずれず、物珍しい眼が注がれるばかりだ。ここはクダラ。美しい地名だつた。

（つづく）

明日のKOBEを創る 130人のリーダーが情熱をこめて語る

FASHION OF KOBE

神戸ファッション都市論

自己主張のある余暇とファッション文化

神戸のモダンライフの流れを探る

ファッション都市は日常生活の集積から

スポーツライフがファッションをリードする

ファッション文化に不可欠な創造性

住むのに最高の町、日本の外国、神戸

神戸文化の背景は国際的モダニズム

ファッション都市づくりの核にメッセ(見本市都市)の設置を

ファッション都市はショピングエリアから

ファッション都市の舞台装置を創る神戸の家具

洋菓子こそ神戸文化のパロメータ

全国の80%を集散する神戸の真珠業界

ファッションは生活のゆとりのなかから生まれる

トータルファッションのなかの神戸シユーズ

百年の伝統と世界的技術を誇る神戸の洋服

神戸の生活文化を培うデパートメントストア

ファッションナブルな神戸の魅力をつくる北野町界隈

世界的な水準を誇る神戸の味覚文化

長期ビジョンをもつたファッション都市づくりを

ファッション都市に必要な空港とホテルと見本市会場

ファッション情報センターの設置が急務

ファッション都市を創る人材を養成する

豊かな文化が経済活動のエネルギー源となる

既成市街地の整備と未来の海上都市の建設

あすの神戸、国際情報文化都市の創造を目指して

編集 / 月刊「神戸っ子」

発行 / コミュニティサービス株式会社

(〒650)神戸市生田区東町113-1大神ビル7F TEL.078-331-2246

お待たせいたしました
市内各書店にて一斉発売

10月4日発売!

KOBE MOOKS No.1
定価 1,200円
(送料 250円)
A4版 220頁

神戸の子と

出会い時

求めに
ます。

小小楠貝鴨柏嘉嘉金小小岡牛榎石石石乾砂青朝
曾比
泉林磯本原居井納納井野根崎尾並阪野野 野木奈
徳芳良憲六 健毅正元一真 吉正春成信豊 重
一夫平吉一玲一六治彦夫造忠朗一生明一彦仁雄隆

外竹津高陳田玉田田武淹淹竹角砂塙新白佐坂後上
島馬高橋 辺井中宮田川川中南田路谷川藤井藤林
健準和 舞聖 健虎繁勝清 猛重義秀 時末英
之 太
吉助一孟臣子操郎彦郎二一郁夫民孝夫渥廉忠二一

神淀行元百村光宮宮松福深畠野成南難中中西西直
戸川吉永崎上田地崎井富水 澤瀬部波西卷脇村木
青年 会長哉定辰正顕裏辰高芳惣専幸香圭 太
議會 治女正雄郎司二雄男美吉郎樞三還勝弘親功郎

上	山	町	内	町	テ	ル	宮
ル	木	町	ト	ラ	ル	テ	ル
木	木	引	ラ	ル	ル	ル	ル
木	木	町	ラ	ル	ル	ル	ル
木	木	木	ラ	ル	ル	ル	ル

神ク★ガ神キ
れ神デ★デバ

ロントアロード
イラ 元町2
神戸のレストラン
キシーランド（
戸市葺谷区磯辺
んが亭（トア・
ヤンティ 北店
戸館 生田新道
ストロノミ 異
スタンド・ヌ
ラブ小万 生田
戸時代 北野町

店 フラワーロード
通四 7 2 7 7
ロード
四 7 1 6 8
四 7 3 6 6 1
四 2 9 5 5
人館通り
四 1 5 2 9
東門筋中島ビル
ック・CLUB
3 5 6 7

A cartoon illustration of a cat with a white face and black body, sitting and reading a book. The book has a cover with a heart and the text '猫の本' (Book of Cats). The cat is looking up at the top of the page.

★大阪のホテル

後編集



★感舌な文章を読むと、何よりも生き生きとした印象です。特に、秋の風景を描いた文章は、その豊かな色彩と、生き生きとした筆觸が、まるで絵画の如く、目に浮かびます。また、季節感や、物語の流れが、読み進めながら、自然と心に染み込んでいきます。特に、最後の結論で、物語の締めくくりが、とても印象的で、心に残ります。この感想文は、物語の構造や、文章の構成、文法の使い方など、多くの学びがあり、とても有益な文章でした。

灘区六甲山西谷

上
四
〇
三

333

戸時代
北野町

四四

An illustration of a small mouse sitting on an open book. The book has the title '神戸こ子' (Kobe Kokochi) on the cover. The mouse is looking at the open pages of the book.

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい読さま、また神戸の香りをおどけにいるお友達さま、または神戸をとどけにいるなりたい方は、編集室あてにお申込み下さい。さっそくお送りします。

1年分 3,000円(送料共)

左の本屋さんへどうぞ。

芦屋市公光町 芦屋市公光町
芦屋市宮町若狭 芦屋市宮町若狭
国鉄住吉駅北口 国鉄住吉駅北口
東灘区本山 東灘区本山
阪急六甲駅中2階 阪急六甲駅中2階
新開会館1階 新開会館1階
葺合区布引町4 萩合区布引町4

● ジャルダンフェスティバル
ジャルダン号に乗って神戸の空を飛ぼう！



★ 抽選でチャーターセスナ機による空中デートを
10組のペアにプレゼント！

期間 / 10月5日(木)～25日(火)20日間

応募要項 / 期間中ジャルダン各店をご利用のお客様に、抽選券をお渡ししますので、住所・氏名をご記入のうえ、所定の箱にお入れ下さい。当選者は10月30日(日)ジャルダン各店頭にて発表いたします。

八尾空港より、ペアごとにチャーターされたセスナ機に乗って神戸の上空を約1時間お楽しみ下さい。

ジャルダンニュース

- 新長田駅前のジョイプラザ大丸B1の「アイスクリーム&ホットドッグの店」がオープンしています。ヤングに大好評！
- 同じく地下鉄新長田駅コンコース内に10月10日珈琲肆「ジャルダン」がオープン。本格派にびったりの珈琲専門店です。



TEA & COFFEE
ジャルダン

楠 公 前 店
大 丸 店
サンこうべ店

☎ 351-1149
☎ 321-5257
☎ 351-6032

中 山 手 店
ジョイプラザ店
新 長 田 店

☎ 331-6680
☎ 643-2951
☎ 642-2993

baLlon antique series

〈54〉レコード

今崎 陽吉 さん
(ラジオ関西プロデューサー)

円形や六角形、電話を形どったり真っ白や真っ黒、また横尾忠則デザインによる二十二面体などと、ロック音楽のレコードジャケットは凝りに凝っている。

「特にロックの場合、ミュージシャンの主張がジャケットにも表われていて、レコードが単に音だけを聞くというこれまでの概念からトータルな芸術品という感覚のものがたくさんあります。音からだけでなくジャケットを眺めながら楽しんでます」と話す今崎さんは、朝はロック音楽を聞きながらブラックコーヒーでお目覚めです。

センター街店にて
カメラ / 米田定藏



バロニ

★英國風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ 神戸亭
三宮センタープラザB1 TEL 332-6361

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
箕面区旗塚通7-5 ☎ 231-6200
トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306

北海道郷土料理 蝦夷
生田区中山手通1-115東門筋東会館ビル1階 ☎ 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎ 331-0494

鍋もの・おむすび
お茶漬・炉ばた 悟味西
生田区北長狭通1-20 ☎ 331-3848
三宮さんちかタウン ☎ 391-5319

たこ焼 たちばな
三宮センター街(旧柳蔵) ☎ 331-0572

とうふ料理 東府家
生田区北野町3-53 ☎ 221-1148

お茶漬・おむすび
鍋もの ふる里
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-5535

かっぽう吉
生田区加納町3-95-1(ニュージャパン別館前) ☎ 241-3450

御食事処鳥
須磨本店 ☎ 731-5855 センターブラザ店 ☎ 331-6948
さんブラザ店 ☎ 391-3696 三宮東門店 ☎ 331-4043

★西洋料理
レストラン アボン
箕面区八幡通5-6 ☎ 251-3231

レストラン 鹿皮〈あらかわ〉
生田区中山手2-9 ☎ 221-8547, 231-3315

ピザ&スパゲティ ガルの店
箕面区琴緒町5-1-7 西山ビル1F ☎ 241-9025

ステーキハウス グリル青山
生田区中山手通2-112-2(トアロード) ☎ 391-4858

レストラン クイーンズコート
生田区山本通2丁目31 ☎ 242-2469

ステーキ&
ドリンクス 神戸館
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F ☎ 321-2955

スカンディナビア料理
世界の民族音楽の店 ゴックスタッド
生田区山本通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131

GALLERY &
STEAK HOUSE SAN-MON三門
生田区中山手通2丁目98-99 ☎ 331-5817

Cafe et
Restaurant アンドウトワ
生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639

レストラン スイスシャレー
生田区北野町3-48アニルドマンション1F ☎ 221-4343

レストラン セントジヨージ
生田区北野町1-130 ☎ 242-1234

レストラン 男爵
生田区中山手1-18
山手第一ビル1F ☎ 241-0778

メキシコ小料理亭 テイフアナ
生田区中山手通1丁目4-12 パールコ・ボラスピル1F ☎ 242-0043

Restaurant & Lounge ボナペチ
生田区北野町3-49 BKブラザ1F ☎ 222-5300

ピザ・パブ ピザ・パテオ
生田区元町通1-49(元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ピストロドゥリヨン
生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727

ピッタハウス ピノツキオ
生田区中山手通2-101 ☎ 331-3545

ナイトラン ハードの鳥
生田区中山手通1-27 ☎ 242-1330

ボリネシア料理 海賊焼
フイッシャーマンズポート
神戸港第4突堤ポートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フック東店
生田区栄町1-5-3 ☎ 321-3207

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月
元町フルーツホール
元町1番街 ☎ 331-1987

ステーキハウス れんが亭
生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3 ☎ 331-2108

居酒屋 ロス・ヒタノス
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイツ ☎ 391-5431

レストラン フック神戸店
生田区栄町2-24 ☎ 321-3453

炭焼ステーキ 勝旋門
生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F ☎ 321-3378

ドイツレストラン ハイデルベルク
生田区山本通2丁目 ローズガーデン2F ☎ 222-1424

ボロニア風
生バスタの店 カプリオ
神戸三宮さんプラザ1F ☎ 391-5206

サバー&れすとらん 島津
生田区栄町通2-14 加地ビル3F
阪神元町駅西口南 ☎ 391-5700

★喫茶 ティー&スナック
工ポツク
生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694

喫茶ガーデニア
生田区東町113-1 大神ビル1F ☎ 391-5114

宮水のコーヒー
にしむら珈琲店
中山手店 生田区中山手通1-70
センター街店 生田区三宮町2-35 ☎ 391-0669

北野店 山本通2-9 ☎ 242-2467
(会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880

ピアノホール バックスステージ
生田区三宮町1 サンプラザ10F サンロイヤル ☎ 332-0230

珈琲モーツアルト
生田区山本通2-98グランドマンション1F ☎ 241-3961

ファッショナブル
ソーン
ティーラウンジ
キングスコートペントハウス
生田区山本通2-111 キングスコート内 ☎ 242-7090

珈琲
club
c l u b
飛鳥
生田区三宮町2丁目25(トアロード) ☎ 391-1589

club
c l u b
小万
生田区東門筋中島ビル3F ☎ 391-0638, 4386

club
c l u b
さち
生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120

club
c l u b
千
生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077

club
c l u b
なぎさ
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626

club
c l u b
ぶげん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F ☎ 331-8593

club
c l u b
B A R
M o o n L i g h t
BAR ☎ 331-0886, 391-2696
Club ☎ 331-0157

クラブるふらん
生田区北長狭通1-53 ☎ 331-2854

★STAND & SNACK
PUB & RESTAURANT アップランド
生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271

サロンドアルバトロス
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

DRINK IS
AN ART OF LIFE ウッドハウス
生田区下山手通1-32 ☎ 241-7320

CAFE WHISKY 音楽の家、ETエトワトイ
生田区三宮町3-三宮センター街西入口
スカイドアビル3F ☎ 332-1755

純会員制 エドワーズ俱楽部
生田区北長狭通1-28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道
391-3300

SNACK L 8 M
生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1
321-3070

ナイトイン おしゃれ貴族
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザB1 ☎ 242-1925

スナック 蘭の花
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ5F ☎ 391-4455

スタンドかでな
生田区中山手通1-90 英健ビル1F
331-1316

キヤンティ
本店洋酒の店 生田区北長狭通2-3
391-3060, 391-3010

北店スープとパンの店 生田区下山手通3-8-9
331-3361

スタンドグラムール
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

スタンドくる実
生田区中山手通1-72 ☎ 331-6985

サロンド神戸時代
生田区中山手通1-28
モンシャトウコトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ
高架山側 テキの店北 ☎ 331-2615

スナック 聚利
生田区下山手通2-8-6 ☎ 321-0260

スナック 山莊
生田区北長狭通1-22 ☎ 391-5823

music spot サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2トアード
391-3822

北野店 生田区中山手通1-24-7
ダイワナイトプラザ6F ☎ 221-3886

スナック レオパルド
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ6F ☎ 391-0992

DRINK SNACK スネカリッ子
生田区下山手通2 永見ビルB1
391-8708

Wine and something 珍地理屋
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

素舌洞 でっさん
生田区北長狭通1-258 ☎ 331-6778

スナック ビジービー
生田区中山手2 ☎ 391-4582

ワイン&ティーレストラン バランタイン
生田区中山手通2-101 大洋ビル2F
321-5677

居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1
331-3575

STAND マシュケナダ
生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F
331-5587

サロンドパレス小姫
生田区加納町4丁目神三ビル2F
332-1098

スナック 興志務樂亭
生田区山本通2-60 パーライフB1
242-1977

ディー&カクテルラウンジ ルカカルトン
生田区北野町3-2-67 ☎ 241-4323

ウエスタンバブ 神戸ホンキートンク
生田区加納町2-30
241-2161

バー サンデリカ
生田区中山手通1-90
392-1434-6

ラウンジレストラン コンパス
箕面区二宮町3-12 大西ビル2F
242-1236

S N A C K シャングリラ
生田区中山手通1 マリンビル1F
391-8941
グランプリ・中山手通1 ニューアツビル2F
391-4406

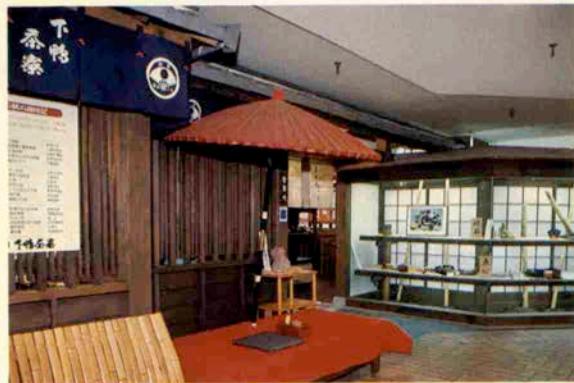
★KOBE PLAY GUIDE MAP★

★KOBE PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもんとドリンクイング



Fall Eating

小さな秋に見つけた味



王城千年の歴史が育てはぐくんできた京の味。

京料理

下鴨茶寮

サンロイヤルプラザ神戸10F

332-0509



ドイツ料理、ドイツワインにドイツ音楽が加わると…。
ドイツレストラン

Heidelberg

山本通2丁目ローズガーデン2F

222-1424



風がすすきの穂にそよぐ頃、松茸の香りとともにどうぞ
てんぶら おもし

榮彌

大丸前三宮神社東

331-5772

支店さんちか味のれん街



阪急六甲の山側に小さいけれど素敵な店オープン。
チャイニーズパブ

GEN

灘区篠原本町1丁目7-1メープル六甲

882-4520

A|U|T|U|M|N| L|E|A|V|E|S

Since you went away, the days grow long. And soon I'll hear old winter's song, but I miss you most of all, my darling, when Autumn Leaves start to fall.



神戸の夜、魅惑の夜、二人の愛の言葉を、恋する気持を「ロス・ティファーナ」が愛の調べでつづりましょう。

メキシコ料理の店

TIJUANA

ティファーナ

生田区中山手通1 242-0043 無休



落ちついた雰囲気と和気あいあいのムードで新しくオープンした「すすきの」。お気軽に立ち寄り下さいませ。

SNACK

すすきの

生田区下山手通2 331-1813 日祝休



若者の熱気でいっぱいのペーターは、空に浮かぶ気球のような、夢がふくらむメルヘンの世界を想わせる楽しさ

ビアレストラン

ペーター

生田区北長狭通1 大山ビル地下 332-1307



深まりゆく秋に、あなたも「ラベコンスタンタン」で水割りグラス片手に美女と楽しく語りながらのひとときを。

SNACK & NIGHT SPOT

ラベコンスタンタン

生田区中山手通1 マリンビル地下
332-1019 PM.7~AM.1 日曜休

NIGHT IN KOBE



LEOPARD

生田区中山手通2

東門ダイワナイトプラザ6F
☎ 391-0992・2125 第3日曜休

素敵なレディ只今増員中
連絡お待ちしております



男には時々錨をおろす港が必要だ。
心のなごむ音楽と何杯かの水割りと
明るいおしゃべりとで迎えてくれる
やさしい港が必要だ。そのリラックスのひとときで男には活力がよみが
える。そしてまた明日の仕事が男を
待っている。それが男の人生だ。



話題の北野町に新しく誕生。ランチタイムにも、ティー
タイムにも、夜のお食事やドリンクにもお楽しみ下さい。

Restaurant & Lounge

BON APPÉTIT

ボナペチ

生田区北野町3 BKプラザ1F ☎ 222-5300

第1・3火曜休 AM 11~PM 11



グラスの中の氷が溶ける音に、なぜか人恋しさを覚える
秋の宵、あなたは「ジュテーム」で素適なひとときを。



Jetame

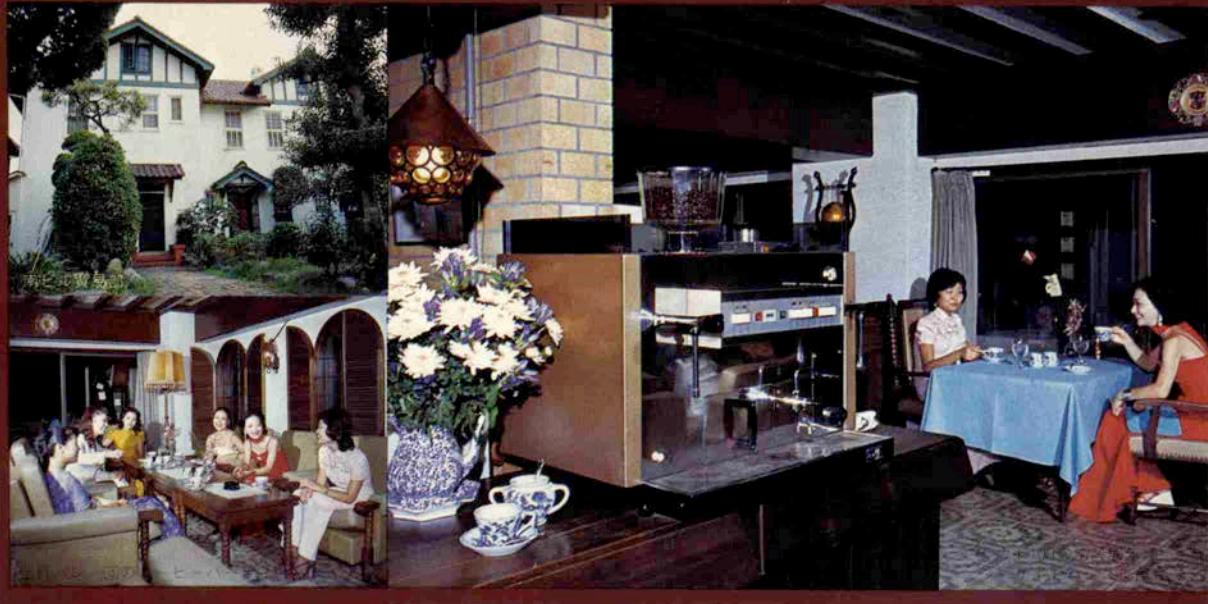
ジュテーム

生田区中山手通2 東洋ビル2F
☎ 391-3746 日祝休

ヨーロッパのコーヒーメーキング。

MICADO

JASCO TRADING CO., LTD.
PRESIDENT
O. NIEDERHAUSER
& MR. H. HIRAMOTO



製造元



スイスエグロ社

輸入総代理店

株式会社 南ビル 貿易部

神戸市垂水区塩屋町字小谷267

TEL (752) 0373 • (751) 2386

1kgの豆で130杯の美味しいプロコーヒーがとれるスイス生まれのミカド100

香り高いコーヒーは、デリケートな感覚を大切にしてこそ初めて生まれるものです。ミカド100は、豆の量と湯の温度を理想的に組み合わせ、豆ひき、調合、圧搾煮沸という順序を自動的に行ないます。あらびき、ほそびきなどもダイヤル調節だけで簡単にできます。

ホテルのコーヒーhausenに、また初めての方のコーヒー店経営に自信をもって、スイス生まれのミカド100をおすすめいたします。



シーサイドクラブ'77秋の海外旅行特別企画
「ファッションラリー'78」と
晩秋のヨーロッパ
11月17日(木)~11月26日(土)
10日間 ¥279,000円(大阪発)
ファッションラリー参加費20,000円含む
この機会にヨーロッパにおでかけください。



9月16日、大内順子さんとパリを語る会より

秋は味覚のシーズン、シーサイドクラブの誇るフランス料理をお楽しみ下さい。メニューは細川董先生の絵で新しく完成しました。

スパニッシュナイト

10月22日(土) ■6時30分より ■会費5,000円 ■出演 宮田隆ほか
アンダルシアの夜をシーサイドで

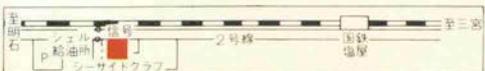
小宴会承ります。すてきなパーティを演出いたしますのでお申し付け下さい。



ヨットやモーターボートでもおこし頂ける
南仏風レストラン

SEA SIDE CLUB
PALACE
SHIOYA

神戸市垂水区塩屋町字高尾179の6 シーサイドパレス塩屋内
(国鉄塩屋駅西400m)
TEL753-1373(駐車場完備)
☆営業時間
11:00AM~11:00PM
年中無休





PUB &
RESTAURANT

UPLANDS

生田区加納町3丁目

1-34

☎ 241-8271

KOBE EATING & DRINKING GUIDE

スナック&喫茶

ノンノン

須磨区月見山本町2
(山電月見山駅南隣)

☎ 734-7676



JAZZ CLUB

SATIN DOLL

生田区中山手通1丁目57

☎ 242-0100

DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

WOODHOUSE

山内ビル

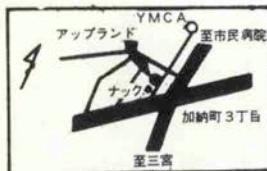
☎ 241-7320-7983



☆本格的な秋の訪れです。たとえば、静かな秋の夜に、ひとりでグラスを傾けるのもいいものです。ましてや、傍にステキな恋人がいるなら、何をかいわんやです。しかし、とはいっても、やはり、仲間と一緒に飲むことは、また別の楽しみ。さあ、ひとりの君も、お熱いおふたりさんも、「アップランド」へ来てみませんか。今夜も若い仲間が思い思いに秋の夜を楽しんでいますよ。毎週火曜日の夜2回(9:40PM、10:40PM)チャーリー、ショー、ジマーのトリオ、それ以外の日はチャーリーとショーニのステキなライブがあります。

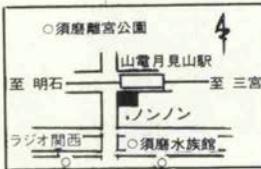
☆ボーカルソーセージ¥900 シャバーズパイ¥1,000 ステーキ&キドニーパイ¥1,000 フィッシュ&チップス¥750 コーニッシュバースティ¥800 プロス(ウェールズ風シチュー)¥800 ヘルステーキ¥2,800 J&B、G&G、OLD各¥500 ビール¥400 フィズ¥500

5:00PM~3:00AM 日曜祭日6:00PM~3:00AM 無休



アップランド

KOBE EATING & DRINKING GUIDE



ノンノン

☆北に須磨離宮公園、南に須磨水族館、その真中にあるのが「ノンノン」。1階は喫茶店。壁には全国各地のお土産物が所狭しと掛っています。これらすべてお客様のプレゼント。階段をトントンと上るとスナックです。檜でつくった1枚板のカウンターはマスターの自慢で仲々立派なもの。竹をあしらったインテリアは日本調でこれまたユニークです。これらに加えて気さくであけっぴろげなマスターとママが何といっても「ノンノン」の最大の魅力。だから若者からご老人まで客層は広い分と広く、近くにラジオ関西や女子大のあることから個性のない人や若い女性の姿がよく見かけられるのです。また、食べながら飲む人が多いので手づくりの料理もいろいろとあり、結構イケるのです。「Wワン」というのが実は名物で何かといふとビフカレーをかけたもの。とにかく楽しいお店なんです。ぜひ一度飲みに行きましょう。

☆オールドキーイブ¥4,500 ミニチュア¥600 ビール、日本酒各¥500
喫茶/8:30AM~10:00PM スナック/5:30PM~0:00AM 火曜日休み

☆「若い人が多いので、店が明るく活気があるのが素敵ね」——と貴子さんと順子さんの仲のいいサテンドールの大ファン姉妹。

ジャズライブの店として楽しんでいただいておりますサテンドールではパーティの予約を承っております。結婚披露宴やクラス会などご利用下さい。(10~40名で一人3,500円より一軒食付・フリードリンク)

ライブ

月~土 ハウストリオ(渡辺健蔵(b)安藤義則(p)岩本龍夫(ds))

毎週水曜日はハウストリオ+ロミ伊藤(Vo)

毎週日曜日は森宏トリオ、田代泰之トリオ、池田裕志トリオ、西山満トリオら関西のジャズメンの演奏。

☆ビール¥400 水割¥400 ピラフ¥400 サテンドール風スパゲッティ¥600 チキンパスタ¥700 エスカルゴ¥1,000

6:00PM~4:00AM 無休

